

# 広告

# 石狩暮らし

市民の“十人十色”な暮らしを、ご紹介します。



①



②



③



④



⑤

- ①「30年という節目の年を迎えられてうれしい。これからも地域の皆さんに感動してもらえる写真を仲間とともに撮っていきたいです」と進藤会長。
- ②当別町で亜麻の花を撮影する様子。昨年7月の撮影会にて。
- ③時には撮影会とは別に小グループで撮影隊を組むことも。写真は5/14に行われた厚田での夕日撮影会。
- ④写真教室では、プロジェクターで作品を投影し、会員同士意見を交わします。
- ⑤花川南小学校で開催した写真展。子どもたちには動物の写真が特に人気でした。

## 頭と体をフル回転に 「シャッターを切る喜び。」

石狩写真クラブが創立30周年を迎えました。かつて石狩さけまつりでモデル撮影会を先導した同クラブは、現在、写真教室や撮影会、写真展を行うなど、ますます精力的に活動しています。

会員数は23人。「平均年齢は72歳です」と笑うのは事務局長の佐々木真治さん(79)。とはいえ、日ごろからカメラ片手に自然の中を歩き回るので、皆さん“健脚”が自慢です。

さらに驚くのは、その知識の深さ。鳥を撮る、花を撮るといっても、ほかの人が撮ったことのないような一枚を目指せば、やはり被写体の特徴や気候のこと、撮影スポットなどの知識や情報は欠かせません。

公民館で月2回行われる写真教室は、まさに

そんな知識や情報を会員たちが分かち合う場です。プロジェクターで作品を映し出し、撮影者が自ら作品を解説しはじめると、すぐにほかの会員から質問が飛び出します。「何時に撮影したの?」「シャッタースピードはどれくらい?」そして時には「いい写真だねえ」と称賛の声。仲間からの一言は日々の励みになるでしょう。

会長の進藤五郎さん(78)は「この写真教室は一般の方にも見学してほしいです。撮影技法や構図についてもみんなで一緒に勉強していますし、何より写真に興味があれば、好きな者同士で会話ははずみますから」と目を輝かせます。

7/29(火)から市民図書館で「創立30周年記念写真展」が開催されます。回を重ねて62回目。写真に魅せられた人々の力作が並びます(8/3まで)。

## 石狩写真クラブ

昭和60年に写真愛好家4人が石狩写友会を結成したのがはじまり。平成21年に現在の名称へ変更。なお、会員は随時募集中です。

### 主な活動内容

- 写真教室：毎月第2・4土曜 13:30~16:30、市民館で開催
  - 撮影会：毎月第3土曜。石狩市近郊や道央地域での撮影など
  - 写真展：年4回開催
- 費用 月額400円  
問合せ 佐々木さん ☎73-8483

